

助成制度やその他のサービスのご案内

〈多子世帯利用助成〉

未就学の乳幼児3人以上を養育している家庭の経済的負担を軽減するため、次にかかる費用の一部を助成します。

- ファミリー・サポート・センターの利用
- 市内の保育園で実施する一時預かり
- ベビーシッターサービス【（公社）全国保育サービス協会加盟の事業所のみ】
- ふれあいサービス
- 産前・産後（有償ホームヘルパーサービス等）のホームヘルプサービス

問合せ：こども総合相談室
047-445-1328

〈ひとり親世帯等利用助成〉

ファミリー・サポート・センターを利用するひとり親（母子・父子家庭等）世帯等の会員に対して、利用料の一部を助成できる場合があります。

- 交通費、食事代金、キャンセル料などの実費分は助成対象に含まれません。
- ひとり親家庭等医療費等助成を受給している方が対象です。
- 利用の際は登録が必要となります。詳細は手引きの12、13ページをご覧ください。センターにお問合せください。

問合せ：ファミリー・サポート・センター
047-445-1354

〈ショートステイ〉

疾病・仕事・出産・育児疲れ等により、一時的に子どもを家庭でみることでできないときに指定施設で預かります。利用には事前登録と申請が必要です。

＊指定施設＊

★児童養護施設「晴香園」
（対象年齢：1歳以上18歳未満）

★乳児院「ほうゆうベビーホーム」
（対象年齢：原則1ヶ月児健康診査終了後から3歳未満）

問合せ：こども総合相談室
047-445-1328

〈病児保育〉

実施施設：白井聖仁会病院内病児保育室
「うさぎ保育園」
（対象年齢：生後6か月～小学校6年生）
問合せ：白井聖仁会病院
070-2656-5671

〈病後児保育〉

実施施設：鎌ケ谷総合病院
（対象年齢：生後3か月～小学校6年生）
問合せ：鎌ケ谷総合病院
047-498-8111

鎌ケ谷市ファミリー・サポート・センター

〒273-0195
鎌ケ谷市新鎌ケ谷2丁目6-1
鎌ケ谷市健康福祉部
こども支援課こども総合相談室内
MAIL：kfsc@city.kamagaya.chiba.jp
TEL：047-445-1354（直通）
受付時間 月～金 8：30～17：00



ファミリー・サポート・センター便り



暑い日が続いていますが
体調はいかがですか。
しっかり水分と栄養をとって
夏バテに気をつけましょう！



子育て支援の心強い仲間が増えました！

令和7年5月28日（水）
5名の方が提供会員基礎研修を受講しました。皆さん熱心にお話を聞いたり、ゆったりとした雰囲気の中、研修を受けておられました。
今後は提供会員として、無理せず、末永く活動していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



実際の重さの
赤ちゃん人形を
使って、あやし
方や遊びの練習
をしました。



「どうしても子どもがご飯を食べてくれますか？」

とのご質問が、お食事付きのサポートをしてくださっている提供会員の方からありました。

提供会員の方でお食事の提供をしたことがある、または依頼会員の方でお子さんの食事で工夫をしていることなど、対応についてお知恵はございませんか。
乳幼児から学童期まで、幅広い年齢のお子さんに対する食事のヒントを募集します！

例えば・・・

- ＊ 小さいおにぎりにする
- ＊ ハムやかまぼこをハート型や星形にする
- ＊ おなかがすくように身体を使ってたくさん遊ばせる
- ＊ 子どもに食器を選ばせる など・・・

“こんな工夫をしているよ”という情報をメールまたはお電話で、ぜひセンターにお寄せください。いただいた情報は、次号に掲載させていただきます。

皆さんからの情報、お待ちしております。

熱中症について

こどもの事故を防ごう

日本中で『熱中症警戒アラート』が発動しています。みんなで熱中症対策を！！



子どもの熱中症とは

人は汗をかくことで対応調節をしています。炎天下などで汗をかきすぎると、体の水分や塩分が失われ、体温調節がうまくできなくなってしまいます。その結果、めまいや立ちくらみ、けいれんなど、さまざまな症状を引き起こします。乳幼児は背が低い分、地表からの熱や照り返しを受けやすくなります。顔が赤かったり、ひどく汗をかいている場合は熱中症をおこしている可能性が高いです。

子どもは大人に比べて暑さに弱く熱中症になりやすく重症化しやすいため、水分・塩分の補給について大人が気をつけてあげましょう。

熱中症の症状

Ⅰ度
【軽症】
□めまい・立ちくらみ
□筋肉痛
□手足のしびれ
□気分不快
□多量の汗
□体温が平熱～38℃未満
□顔面蒼白

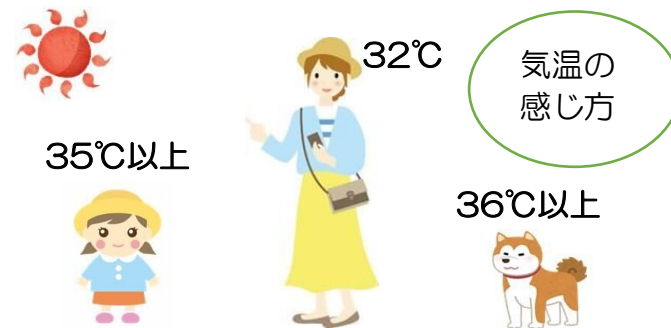
Ⅱ度
【中症】
□頭痛
□吐き気・嘔吐
□しびれ・だるさ
□体温40℃未満
□呼吸が早い
□脈がゆっくり
□脱力状態

Ⅲ度
【重症】
Ⅱ度に加えて
□呼びかけへの反応がおかしい
□麻痺
□異常な高体温
□異常な発汗もしくは汗が出ない
□意識がない
□体温が40℃以上

予防のために

- 遊びや外出時は20分ごとに日陰や屋内で休憩
- 明るい色の帽子と服を着用（熱吸収を最小限に抑えるために白に近い明るい色の衣類の着用がよいとされる）
- 水分は一気にではなくこまめにとる

大人のスポーツ飲料は高熱で明らかな脱水が心配されるときに緊急用としましょう。大人のスポーツ飲料は、体の小さな乳幼児には、糖分・塩分が多く不向きのため、お水で薄めることをおすすめします。



熱中症かな？と思ったら

- 1 涼しい場所に移動
日陰やクーラーの効いた場所にあおむけで寝かせる
- 2 身体を冷やす
服を緩め、太い血管のある所を冷やす（わきの下・首・太ももの付け根）
冷たい濡れたタオルで身体を拭き、うちわや扇風機で風を送る
- 3 水分を与える
麦茶や子ども用イオン飲料を一口ずつ与える

改善が見られない場合は
直ちに受診



119番へ



お知らせ

今年度より、虐待防止に関する研修の受講が必須となりました。新規の方は基礎研修で行い、提供会員・両方会員の方は5年に1度受講していただきます。

今年度は11月11日のステップアップ研修《怒鳴るの回避でにこにこ対応法》で行います。

提供会員・両方会員向け各研修について

基礎研修

第2回：令和7年 9月17日（水）
第3回：令和7年12月 3日（水）
第4回：令和8年 2月 3日（火）
いずれも 9：30～15：15
本庁 303会議室

基礎研修の受講をご希望の方は
こちらの
QRコードから
お申し込みができます。



救命講習

令和7年10月 9日（木）9：00～12：00
消防本部（右京塚）

ステップアップ研修

○「サポート中のヒヤリ・ハット」と
「怒鳴るの回避でにこにこ対応法」
令和7年11月11日（火）9：30～12：00
本庁 5階 休憩室
○「発達障害のある子どもと保護者への
支援について」
令和8年 1月20日（火）9：30～12：00
本庁 5階 研修室

救命講習と虐待防止に関する研修は5年に1度の受講が必須となります。前回令和2年度以前に、救命講習を受講した方は、今年度の受講をお願いいたします。また他で受講された方はセンターにお知らせください。



令和7年6月24日
第1回ステップアップ研修を行いました



心理発達相談員を講師として「発達障害のある子どもと保護者への支援について」をテーマに行いました。発達障害といっても様々であり、具体的事例を交えてわかりやすく関わり方などを教えていただきました。まずは子どもの行動を理解し、気持ちに寄り添いながら対応していくことが大切であると学びました。受講した方々からは「参考になった」「とても勉強になった」「今後に活かしていこうと思う」などの感想をいただきました。研修後は交流会を行い、日頃のサポートのことなど和気あいあいと意見交換がなされました。

同内容の研修が令和8年1月20日にありますので、ご参加お待ちしております。

